

# 町政を問う

深見 迪 議員

国民健康保険税の負担  
軽減策を

に策定する。  
当面は町民との懇談をしていくと  
いうことは考えていない。  
「憩の家かや沼」の概算工費は  
8億円前後を目安としているが、町  
財政の持続性を念頭に、できるだけ  
負担を少なくなるよう努めていきま  
い。

深見 迪 議員

## 「憩の家かや沼」町民懇談会の実施を

町長 当面は考えていない

**問** 第5回町民講座  
は、多くの町民が  
参加しづらい時間設定  
ではなかったか。

基本計画ではグロー  
バルでインバウンド  
(訪日外国人旅行)的  
な性格を持つ施設、高  
級で外国人や経済的に  
裕福な人たちの泊り客  
を期待しているように  
聞こえたがどうか。ま  
た、今までの憩の家の  
ように標茶町民はもと  
より、これまで憩の家  
を高く評価してくれた  
近隣市町村からの団体  
泊り客のような人た  
ちが置き去りにされな  
いかとの危惧を持った  
がどうか。

部屋数も17部屋を11  
部屋にし、クオリティ

(質)を高くする構想のようだが、  
町民や今までの利用客の要望とかけ  
離れてはいないか。

基本計画はいつごろ完成するの  
か。また、この計画こそ町民としっ  
かり懇談をし、町民や今までの利用  
客を満足させる内容にすべきと考  
えるがどうか。  
憩の家改修費は概算で7億円、  
8億円という情報があるが、現在町  
が抱えている様々な建設事業を考  
えると町の財政に与える影響は大き  
ざると考えるがどうか。

**答** 講座の開催時間は講師の都合で  
決めた。設計は決してインバウ  
ンド(訪日外国人旅行)の富裕層を  
ターゲットにする施設をめざすもの  
ではない。今まで以上に町内外の人  
に愛される施設をめざしたい。また、  
施設は今までよりも質の良いサービ  
スをめざしている。

基本計画は令和2年3月20日まで



第5回 町民講座

**問** 本町として「高すぎる国保税」  
という認識は持っていないか。  
今後国保税は本町の場合どのような  
推移するのか。本年度は「赤字解消」  
に取り組んでから、どの程度の値上  
げ率になるか。

一般会計からの法定外繰り入れの  
再開と均等割撤廃で国保税の値下げ  
をし、町民が安心して医療にかかれ  
るようにすることが本来の自治体の  
すべきことと考えるが町長の所見を  
聞く。

**答** 所得における保険税が高いとい  
う構造的な問題があると言え  
る。本町においても所得300万  
円以下の世帯が国保加入世帯の約  
76%、所得がゼロの世帯が約20%で、  
また、国保の加入者は高齢者が多い。  
加入世帯において負担を感じている  
人が多いと思う。

今後の国保税の推移と値上げ率に  
ついては、引き続き税率改正等を提  
案していく。

法定外繰り入れの再開と均等割撤廃は考えていない。

深見 迪 議員

加齢性難聴者への支援を

**問** 中度・軽度の加齢性難聴者は、本町では推計どの程度いるか。

また、加齢性難聴者は、難聴により会話が少なくなり、その結果、引きこもりや要介護になりやすくなることを考えるが所見を聞く。

加齢性難聴者に対して補聴器購入等の補助金、声かけや実態把握等で支援をすべきと考えるがどうか。

厚労省は、障害者ICTサポート総合推進事業を新設したが、貸出用ヒアリンググループの整備はできるか。



**答**

加齢性難聴者については、アンケート調査の設問を工夫するなどして実態把握に努めたい。

難聴と引きこもりの因果関係についてはWHOの認知症予防のためのガイドラインによる認知症予防のための12項目のリスク要因の一つとして挙げられている。

補聴器購入補助金については北海道や他の自治体の状況を注視していきたいと考えている。

貸し出し用ヒアリンググループ整備費用の補助制度は市町村事業には該当していない。

本多 耕平 議員

育英資金貸付減免規定の拡大を

町長 意見を聞き研究していく

**問**

現在、高校を卒業する多くの生徒は、都市部に集中する大学や専門学校等に進学する場合が多く、地方に住む者にとって専門的分野に進学する場合、それ相応の学資金が必要となっている。

その中で奨学資金制度は、親にとつては大変重要な制度である。町民の命とくらしを守り、本町の経済、そして基幹産業を守る立場で私は平成28年9月定例会で質問したが、改めて町長、教育長に伺う。

一、本町に一定期間就業した場合、育英資金の返済減免、また本町に就業条件とした給付型奨学資金制度を追加してはどうか。

二、町内に一定期間就業した場合、他自治体等の奨学金の返済の一部を肩代わりする制度、さらに、永住を進めるため住宅を建てる場合、町有地の無料開放す

る等考えられる支援制度を創設し、有資格者の安定かつ恒久的確保に努めるべきではないか。

**答**

平成30年4月から資金の拡充を図っており、貸付額の限度額が別枠となっていた医学、歯学家庭に、獣医学及び薬学課程を新たに追加し、貸付金の償還を猶予するというものである。

今後とも育英審議委員会の意見を聞き研究していきたい。

また、人材確保に向け、引き続き努力をするとともに、各種産業団体、審議会等の意見を聞き研究していきたい。

本多 耕平 議員

本町における森林産業振興政策を充実すべき

**問** 町の森林産業振興政策について伺う。

一、町有地（荒廃地）に植林をすべきではないか

二、町有林の間伐、皆伐の年次計画はあるか

- 三、毎年3万m<sup>3</sup>が蓄積されているが、毎年どの程度伐採しているか
- 四、酪農家が必要とするおが粉生産に全力を注ぐべきでないか
- 五、近年、一般家庭で薪ストーブが多くなっている薪生産の考えはないか
- 六、森林環境譲与税の有効利用上どのような運用で林産業振興を図るか

**答**

- 一、基本的には植林するのが妥当であると考えている。
- 二、5年を一期とする森林経営計画に基づいて策定している。
- 三、平成29年度は、主伐、間伐合わせて4,606.64m<sup>3</sup>、30年度は、4,629m<sup>3</sup>、令和元年度は、2,534.92m<sup>3</sup>の伐採を行っている。
- 四、おが粉の生産は、補助事業予算の配分により決まっているので予算の確保を引き続き要望していく。
- 五、町が安定的に素材の供給を行うのは困難である。
- 六、令和2年度は、担い手対策と私有林整備に向けた取組を実施したい。

**問**

やすらぎ園の現時点での在園者は80名程度に調整、シヨートステイについても利用制限が続いているとのことだが、この状況が在園者や家族、又、入園希望者の不安や不満になっている。

鴻池 智子 議員

やすらぎ園の人材確保とサービスの向上を

町長 第8期介護保険事業計画で方向を示す

- この事態を打開するためどう取り組むのかを含め次の点を伺う。
- ①短期間に介護職員が退職した主な要因は何か。
- ②職員不足がサービスの低下につながっていないか。
- ③大規模改修により、労働環境を確保し、人手不足を解消すべきではないか。
- ④第8期介護保険事業計画の現施設の半分を特養、残りをケアハウスに充てる案の実施時期はいつ頃か。

**答**

退職については、家族、家庭の都合が多数である。また、業務内容や業務量に違いがあった等の理由もある。サービスの質の低下を防ぐため、入園者、利用者の数を抑えている。老朽化が直接的に事故発生誘発原因とはなっていないが、施設や設備の改善の検討時期に来ている。検討の中に労働環境や効率の改善はテーマになる。第8期介護保険事業計画は策定前だが、令和2年度末には一定の方向性を示す予定だ。

鴻池 智子 議員

災害避難時のためにマイタイムラインの普及を

**問**

今後いつ起こるかわからない災害に対し、町を挙げての万全な対策が必要ではないか。

町として、雪解け時期の大雨や台風による水害から命を守る自助に厚みを持たせる可能性が高いマイタイムラインの普及が大切ではないか。

特に高齢者の円滑な避難のため、水害被害が出ると思われる対象の地

区の人たちに常に意識してもらおう為

**答**

近年、防災対策を着実に進めてきた。平成30年8月、道東地区で初めてとなる釧路川標茶地区水害タイムラインを策定した。マイタイムラインへ、町内会版等、各地区に合った内容のタイムライン策定の検討を進めていきたい。避難時には、避難が早くできるように、最低限のものを持っていくように町内会長と一緒に進めていきたい。



3月11日の洪水の様子

鈴木 裕美  
議員

## 憩の家をリゾートにしようとしているのか

町長 富裕層が対象ではない

**問**

令和元年第3回、第4回定例会で指定管理者と町と同じビジョンを持つ必要があると質してきた。また、町民に対し町のビジョンを示し、状況報告をするよう求めてきた。

2月1日に開催された「まちづくり町民講座」は、基本設計概要とも取れたが、その講座が町民への報告なのか。講座内容は、町民が求めている施設ではないと感じた。

本町の観光ビジョン、特にかや沼地区の観光についても示されていない中で、まちづくり町民講座の内容からリゾートと感じたが、リゾートにしようとしているのか。

改修には8億円程度と説明があったが、財源手立てをどのように考えているのか。

「憩の家かや沼」の目的は、町民の健全な休養とレクリエーションの場を提供するとともに、地域観光の

振興に資するためと設置条例に明記しているがこの条例をどのように考えているのか。

今回のまちづくり町民講座内容は議会には全く説明がない。今までの議論経過からも議会軽視ではないか。



憩の家かや沼

**答**

基本計画の概要が見えてきたから、町民との情報共有を図り、まちづくりを進めたいので開催した。

特定の富裕層をターゲットにしようとする考えではない。

財政は、将来の見通しを注視しながら、補助事業の活用も含め模索中だが、負担が少なくなるよう努める。今までどおり町民に愛される施設、本町の観光振興をけん引する施設として再開を図りたい。

今回の講座は、ある程度の内容が煮詰まった段階で概要を説明できる場を設けた。

鈴木 裕美 議員

講座内容はまちづくり  
にどう生かすのか

**問**

町長の公約の一つに、まちづくり町民講座の開催がある。すでに5回開催されているが、この講座の開催は、町民と一緒に情報を共有すると言われているが、この講座の目的は何か。

町民の参加は、開催ごとに何人参加しているのか。

まちづくり町民講座をこれからの町政にどのように生かしていくのか。

**答**

目的は、国や町の課題や情勢などについて町民と共有し、まちづくりの意識を育み、住民参加型のまちづくりを進めるためである。

参加者は、1回目90人、2回目48人、3回目55人、4回目37人、5回目250名の参加である。

町民のみなさんの参加で、行政に目を向け、関心を高めてもらい、より多くの町民がまちづくりのきっかけとなることで、町がより元気に、町全体の活力となっていくことを期待している。



町民講座

実効性の高い酪農振興策を

類瀬 光信 議員

町長 今できることに取組む

また、長命連産を理想としながらも、近親交配に起因する乳牛の虚弱化、短命化が酪農経営の障害となっている。乳牛の抗病性、長命性を高めることで、各農場の後継牛保有数が適正化されれば、個体販売による増収が図られ、人手不足や育成施設の容量不足解消につながる。近親交配係



また、「憩の家」の再開を、「馬と共に暮らせる町」の取組みをはじめとする政策とどう連動させるのか。そして「憩の家」が、町民の憩いの場にならないとすれば、設置条例に違反することにならないか。

また、無償化の前倒しに約3千万円を要したが、費用対効果をどう評価しているか。さらに、待機者の発生や保育の長時間化、保育士の業務量増加などの問題が起きている。これらを早急に解決し、子育て支援の充実を図るべきではないか。

**問** 関税と貿易に関する協定の脅威、個体価格下落、TPP対策事業の償還開始等、酪農の経営環境は厳しい。多様な経営形態を維持し持続的再生産を継続するためには、国際競争や国内の産地間競争を勝ち抜かなければならない。標茶町は草

数を下げるために、バイキングレッド、モンベリアードを用いた三元交配に取組む考えはないか。

おり、乳牛自体の健全性と乳肉の安全性向上を目指すべきである。そのために、町営牧場での取組みを共同牧野等に拡大し、各種感染症や伝染性の疾病について検査や対策を徹底する考えはないか。

また、長命連産を理想としながらも、近親交配に起因する乳牛の虚弱化、短命化が酪農経営の障害となっている。乳牛の抗病性、長命性を高めることで、各農場の後継牛保有数が適正化されれば、個体販売による増収が図られ、人手不足や育成施設の容量不足解消につながる。近親交配係

**答** 健全性を特徴とする生産体制構築に向け、予防接種と、BVD・DMDのP1牛摘発のためバルク乳検査を行っている。また、HACCP推進会議を立ち上げ、飼養管理技術や衛生管理の向上にも取り組んできた。

**問** 「憩の家」の債務処理と破綻の原因究明は未了だ。

**「憩の家」再開の方針は町の観光政策と矛盾しないか**

一方、再開の準備は着々と進められている。基本計画の概要では、海外の富裕層向け高級ホテルへの転換を目指しているように見えるが如何か。

また、「憩の家」の再開を、「馬と共に暮らせる町」の取組みをはじめとする政策とどう連動させるのか。

また、無償化の前倒しに約3千万円を要したが、費用対効果をどう評価しているか。さらに、待機者の発生や保育の長時間化、保育士の業務量増加などの問題が起きている。これらを早急に解決し、子育て支援の充実を図るべきではないか。

**保育料無償化を検証すべき**

類瀬 光信 議員

うに、施設の性格が当初とは変わっており、設置条例自体変わってもよい時期と考える。

**答** 保育料無償化の成果は、確認中である。ただし、入園申込が増えており、女性の就労、職場復帰につながったと考えている。

また、早期無償化に約3千万円を要したが、保護者の経済的な負担軽減と、先に述べた女性の職場復帰を促したと考えている。

無償化による問題は指摘のとおりである。特に、パート保育士によって対応している部分が多いので、心身のケア等を適切に行いたい。



として企業版ふるさと納税を積極的に活用する方針があるか伺う。

## 長尾 式宮 議員 標茶町におけるふるさと納税の有効活用を

### 町 長 トップセールスで直接企業にお願いに行く

**問** ふるさと納税は平成20年より始まった制度で12年目に入ろうとしている。本来は「遠く離れた故郷を応援しよう」とはじまった制度ではあるが、時が経つにつれ制度の役割は多岐に及んでいる。

本町では今年度より本格的にふるさと納税に取り組んでいるが、今年度末の見込みでどの程度の利用があったのか。また現時点で標茶町の返礼品はどの程度種類があり、今後返礼品の数はどの程度種類を設定するのか。

今後企業版ふるさと納税のルールが変更されると聞いていますが町として企業版ふるさと納税を積極的に活用する方針があるか伺う。

**答** 2月現在で、18の事業所から115品の返礼品の登録があり、この後も上限がないため、随時返礼品の募集を行っている。

「馬と共に暮らせる町標茶」という、馬に関する部分の寄付から始めており、それに付随するものとしては、牛肉とかチーズ等があるが、主に体験型というものも併せて用意している。

今後は、トップセールスで、賛同を得られる企業にお願いに行くことになっている。



体験型乗馬体験

## 渡邊 定之 議員 遠隔地に必要な介護施設を

### 町 長 難しい状況である

**問** 市街地から離れた地域に住む高齢者は、医療、介護、日常生活においても非常に不便な生活環境にある。高齢者やその家族にとっては、日常の健康維持や非常時の対応などに不安を抱えている。このような実態をどう認識しているか。

また、市街地から離れた所で暮らす高齢者とその家族のニーズにどのように対応し解消しようと考えているのか伺う。

市街地から離れた周辺地域に各種の介護施設があれば、高齢者と家族の不安も解消されると考えるが、地域の中に小規模多機能型居宅介護施設の設定などが必要ではないか。町長の所見を伺う。

このような施設の設定により介護保険料はどの程度の負担になるのか伺う。

一定程度の人口が生活を営んでいる地域であれば、町の支援と地域での人材の確保、移

動手段と合わせて運営することは考えられないのか伺う。

**答** 市街地から離れるほど不安が高まるであろうという認識は持っているが、町内の居宅介護施設では24時間の連絡体制を確保し、緊急の一報があった場合にはそれぞれの緊急連絡網等により、スピーディーな対応を行っている。また、希望者には緊急通報システムの設置を実施している。

施設の設置については、好ましいが、慎重な議論が必要と考えている。施設を設置すると介護保険料は第7期基準月額では444円増額の試算となる。

運営については、町営も民間も慢性的な人員不足であり、地域で新しく施設整備を行うことは非常に難しい状況である。

渡邊 定之 議員

学校給食など公共施設での食材の安全は確保されているか

**問** 国内で販売されている食パンからグリホサート残留農薬が検出

されたと聞いたが、この農薬が発がん性物質であることは広く知られている。日本で使われている小麦の8割強は輸入小麦である。このことから、グリホサート残留農薬の含まれた小麦粉を原料としたパン等が学校給食等で使用されているのではないかと心配があるが、そのようなこととはないか。

今後給食など公共施設での食材調達には、検査も含め安心安全なものを確保すべきと考えるがどうか。

**答** 本町の学校給食用のパンの原料料は北海道学校給食会が提供している道産強力小麦粉100%を使用しております。

食材の選定にあたっては、町内産、管内産、道内産、国内産の順に可能な限り地場産品を活用し、調理員がその都度安全確認を行っている。

学校給食以外の保育園、病院、やすらぎ園等での給食提供は、基本的には教育委員会所管の部分と考えは同じである。

松下 哲也 議員

町職員の労務管理はどう取り組んでいるか

町長 元気で働きやすい職場環境に努める

**問** 昨年7月に、道内自治体職員の痛ましい事案が起きた。長時間にわたる残業が原因との報道がなされているが、各方面からの調査が継続されている。このような痛ましい事案が二度と起きることのないよう万全な体制、労働環境を作り上げなければならぬと考える。

本町でも多くの町民から、役場庁舎の照明が夜間遅くまで点灯しており、常に残業している職員が多いのかと心配する声が聞かれる。次の点について町長の所見を伺う。

- 一、恒常的に残業の多い部署があるのか。
- 二、技術系、事務系、現業部門における人員不足がみられるが、その対応はどう取っていくのか。
- 三、その部署における環境、チーム力、個々の精神的な余裕等が図られているか。

**答** 本年度のこれまでの実績では、建設、総務、農林課において時間外勤務が多い状況である。原因の一つとして、技術系の専門職の職員が不足していることによる。

人員不足に対しては、適正な人員配置に努めているが、人材派遣会社の活用や社会人枠の採用試験を実施し人材確保に努めている。

町職員で構成する職員安全衛生委員会で、風通しのよい職場環境づくりに向け取り組んでいる。また、全職員を対象としたストレスチェックを実施している。

松下 哲也 議員

へき地保育所の給食を実施すべき

**問** 昨年4月から保育料無償化が実現された。本町は給食費についても無料としている。それに伴い、弁当を持参するへき地保育所との対応に不平等な点が父母の間で出されている。

子育ての観点から不平等な対応はあってはならないと考え、町内2カ

所のへき地保育所に給食を実施する考えはないか町長の所見を伺う。

町機構図の中には、それぞれの保育園には子供が親しみやすい名称がつけられているが、沼幌へき地保育所に新しい名称をつける考えはないか伺う。

**答**

3歳児以上の園児に対し、外部調理、保育園に輸送方法が厚生労働省令により可能となり提供できる方法を検討してきたが、へき地保育所の給食開始時間である11時に合わせるには物理的に困難であることが判明した。

また、調理員、運搬車の確保等、施設の改修など課題が多いことから給食提供は困難であると判断した。

名称については地域の合意を得ている。今後通所児童、保護者、地域と検討する。



黒沼 俊幸 議員

## 雪印メグミルクの出入り口に信号機を

### 町長 実現に向けて要請をしていく

**問** 磯分内市街地では雪印メグミルク新工場建設が一昨年より行われている。

それに伴って新工場の国道への出入り口が、国道391号線と熊牛原野14線の交差点となり、新工場関係者とトラックの出入りが頻繁になったことにより信号機が必要との声が上がっている。

新工場が始まって、牛乳トラックや社員の出入りが変わらないうちで信号機の設置を検討してほしい。

信号機の整備要望は、管内はもとより全道的にも年々増加しており、交通量などを勘案し、緊急度や危険度が高い箇所から順次整備を行っているとのこと、実現に向けて関係機関と協議、要請をしていく。

**答**

「憩の家かや沼」の破産整理の内容は



国道への出入口

黒沼 俊幸 議員

## 「憩の家かや沼」の破産整理の内容は

**問**

「憩の家かや沼」が平成31年3月28日に破産し、4月10日に株主に説明し、令和元年6月28日に1回目の債権者説明会、12月28日に2

回目の債権者説明会が開かれている。「広報しへちや」の報道によると公社の資産は740万円で負債は4,900万円ということだが、町長はこの4,900万円の内訳を大株主として把握しているか。

また、一般的な負債の返済しなければならぬ順位について伺う。

施設の保全是所有者である町に戻されたという日はいつだったのかも併せて伺う。

**答**

株主として債権者集会に参加し、破産管財人より報告された内容は、負債の約4,900万円の内訳については、財団債権が850万円、その他一般債権が4,050万円、それぞれの内訳は公表されていない。

破産手続きの破産等の優先順位は、初めに財団債権、次に一般債権といわれており、財団債権のうち公租房課費、次に賃金の債権といわれる。

施設は、令和元年6月26日開催の第1回目の債権者集会終了後に破産管財人より引き渡されている。